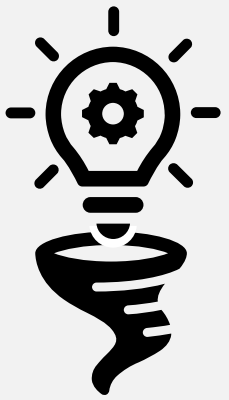
3

創造的思考のガイド



（用語）
ブレスト

ブレインストーミング

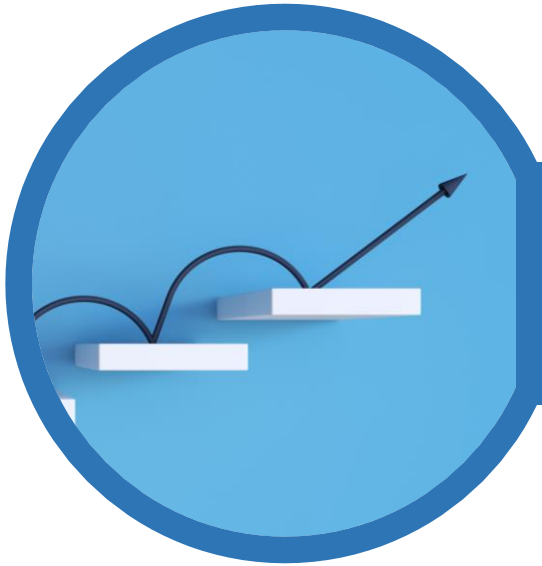
- A.F.オズボーンが作った集団発想法
- 4つのルールあり
- 一人で考える場合にも、その本質は有効

ブレストの4つのルール

（英語表記＝IDEO版）

量を求める

Go for Quantity

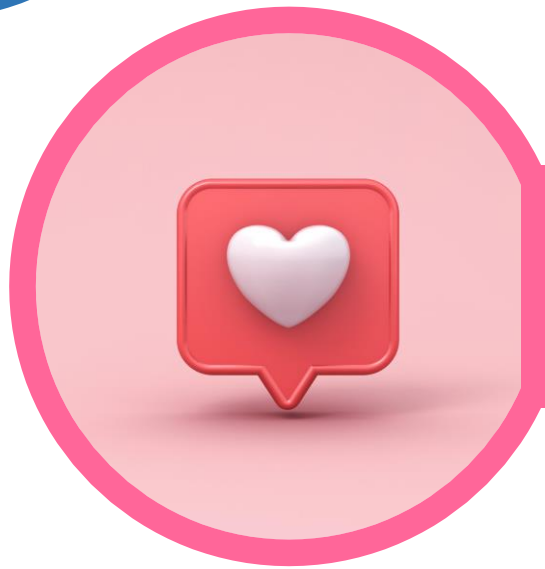


他の案に便乗

Build on the Ideas of Others

突飛さ歓迎

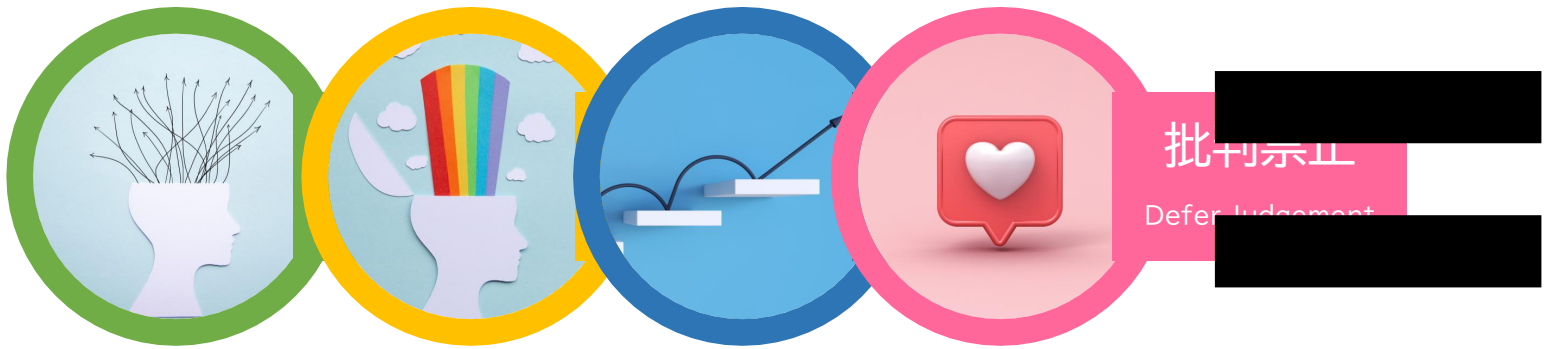
Encourage Wild Ideas

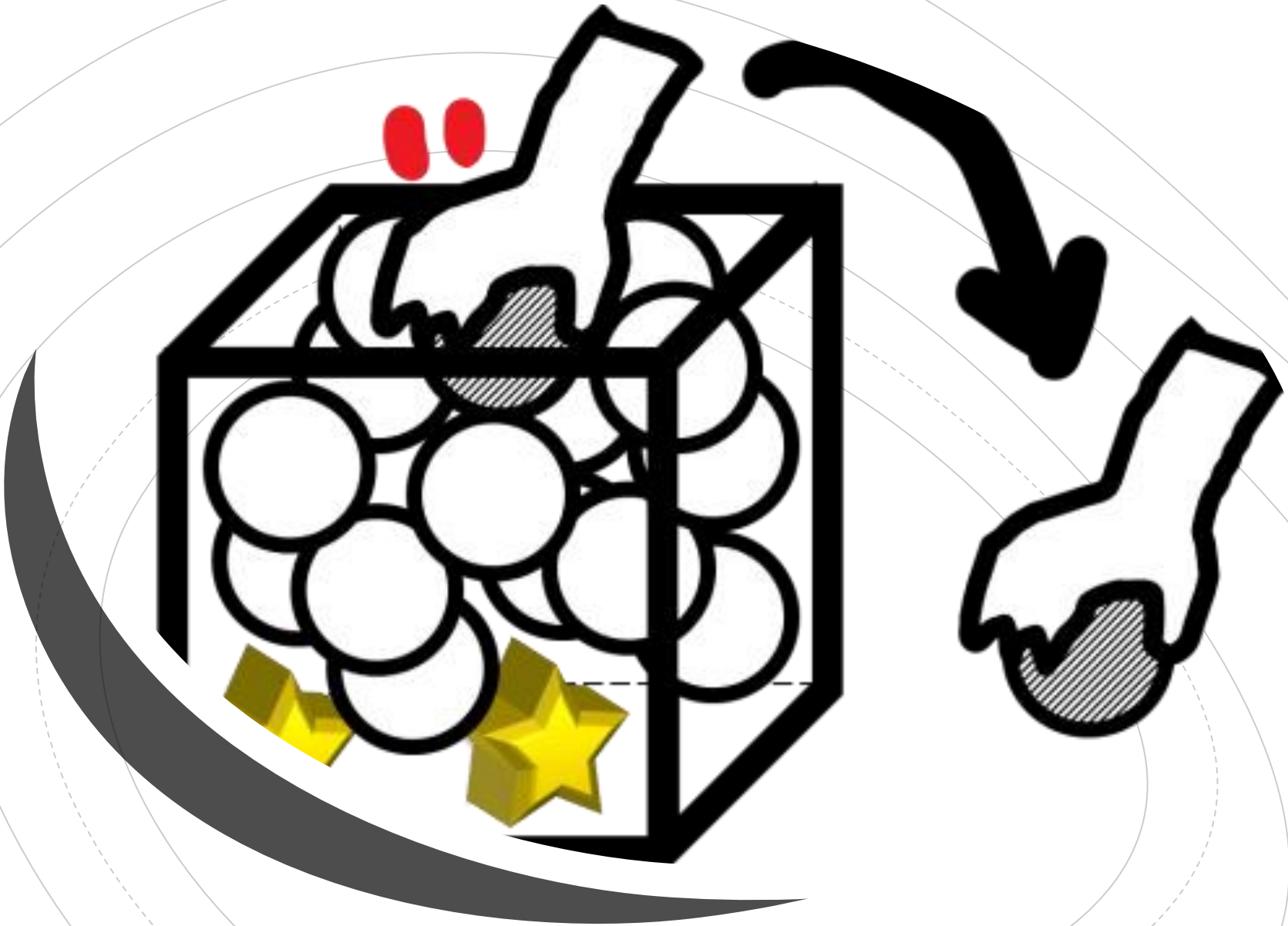


批判禁止

Defer Judgement

「ブレストのルール」＝「創造的思考へのガイドレール」

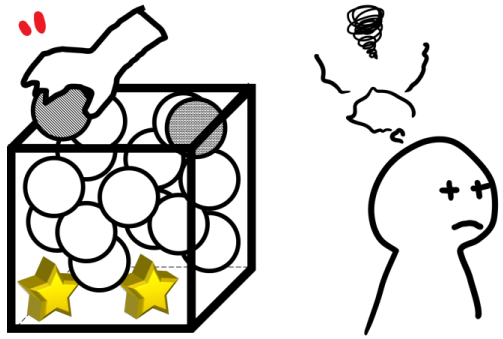




①

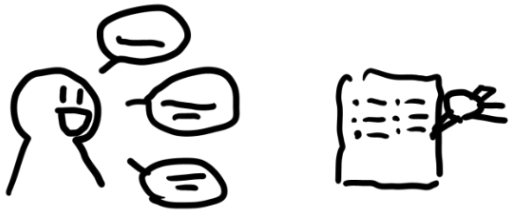
凡案を出し尽くす

- 頭は箱、アイデアはボール
- 出さないと、同じものを掴む

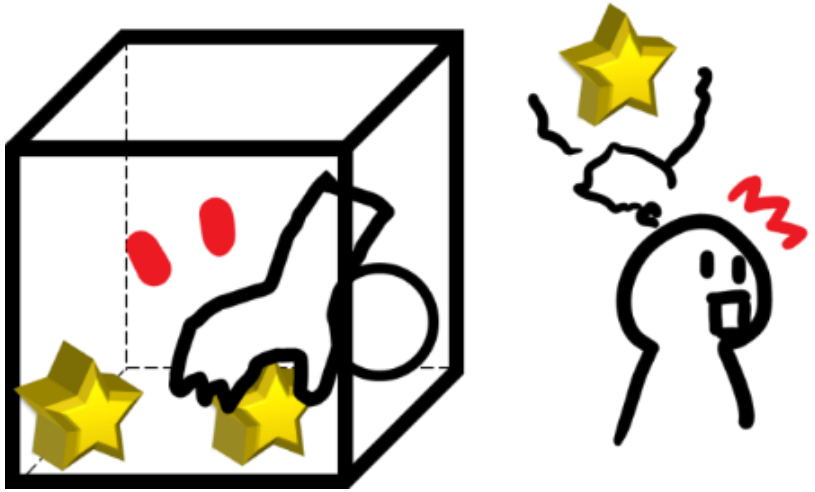


- （なので、浮かぶ案を）箱の“外に”出す

外→×「考える」
○「言う」、「書く」



- 出し尽くすと苦しくなる
- このあたりからと独創案が



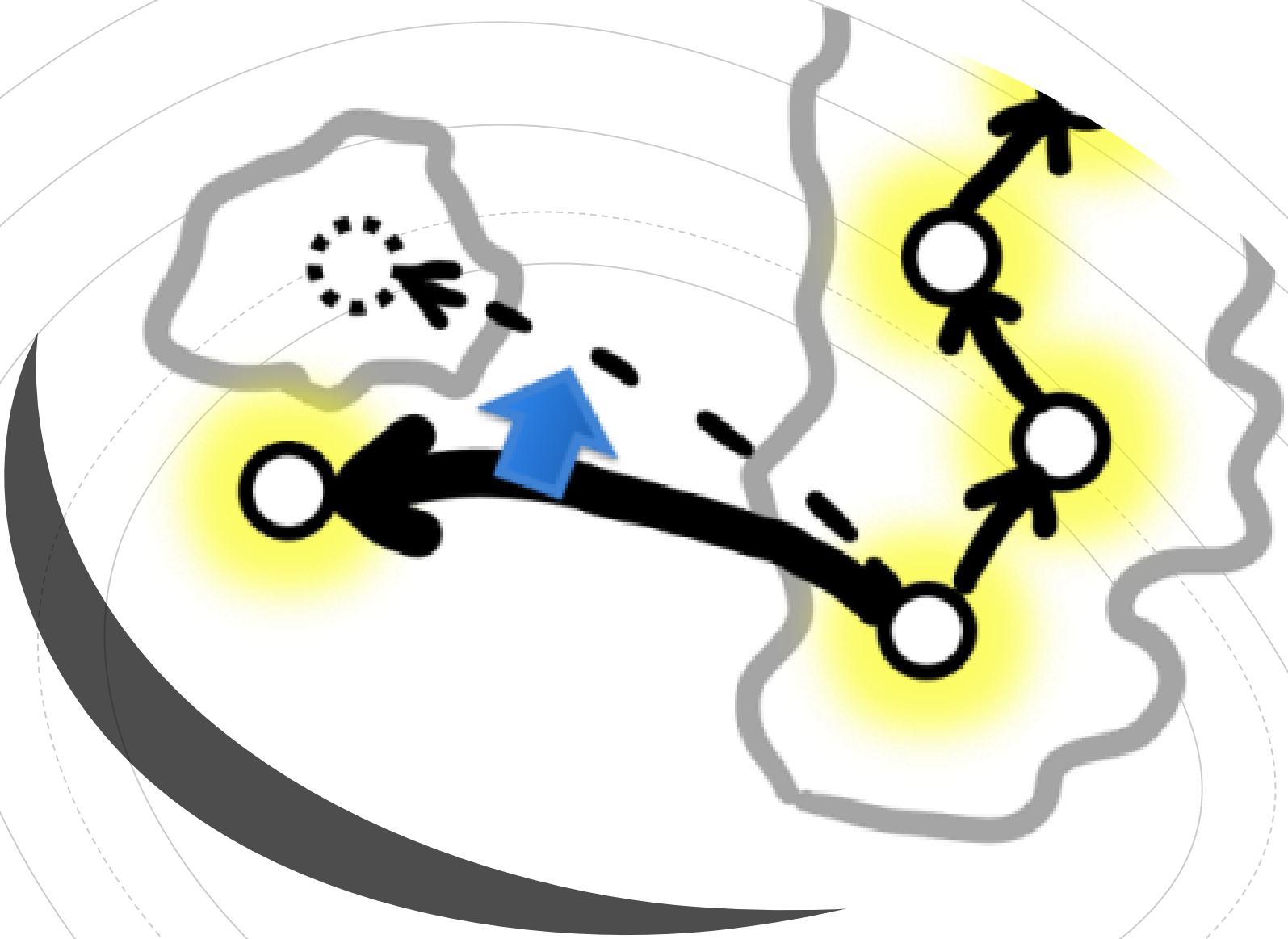
量を求める

Go for Quantity

このルールの
根底にあるもの

まずは出し尽くす。
そこからさらに出す。

（考えを吐き出すと、新しい考えが
浮かぶ余地が生まれます）



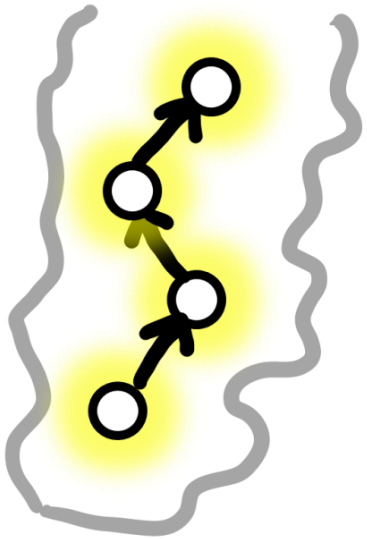
②

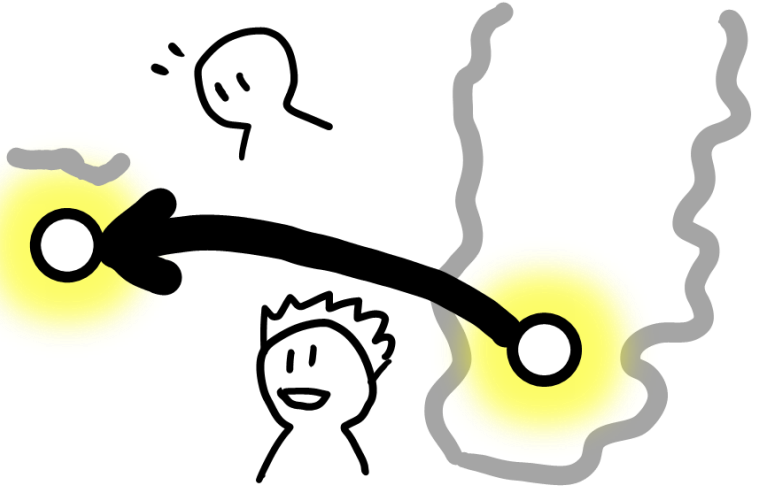
囚われの
外へ

- あたらしいアイデアは
  頭の中の、暗い領域に

- 暗い領域では、人は、
  少しずつしか進めない

- “突飛さん”は大きく飛ばす
- 不連続な解の近くをよぎれば、
  目のいい人が気づく





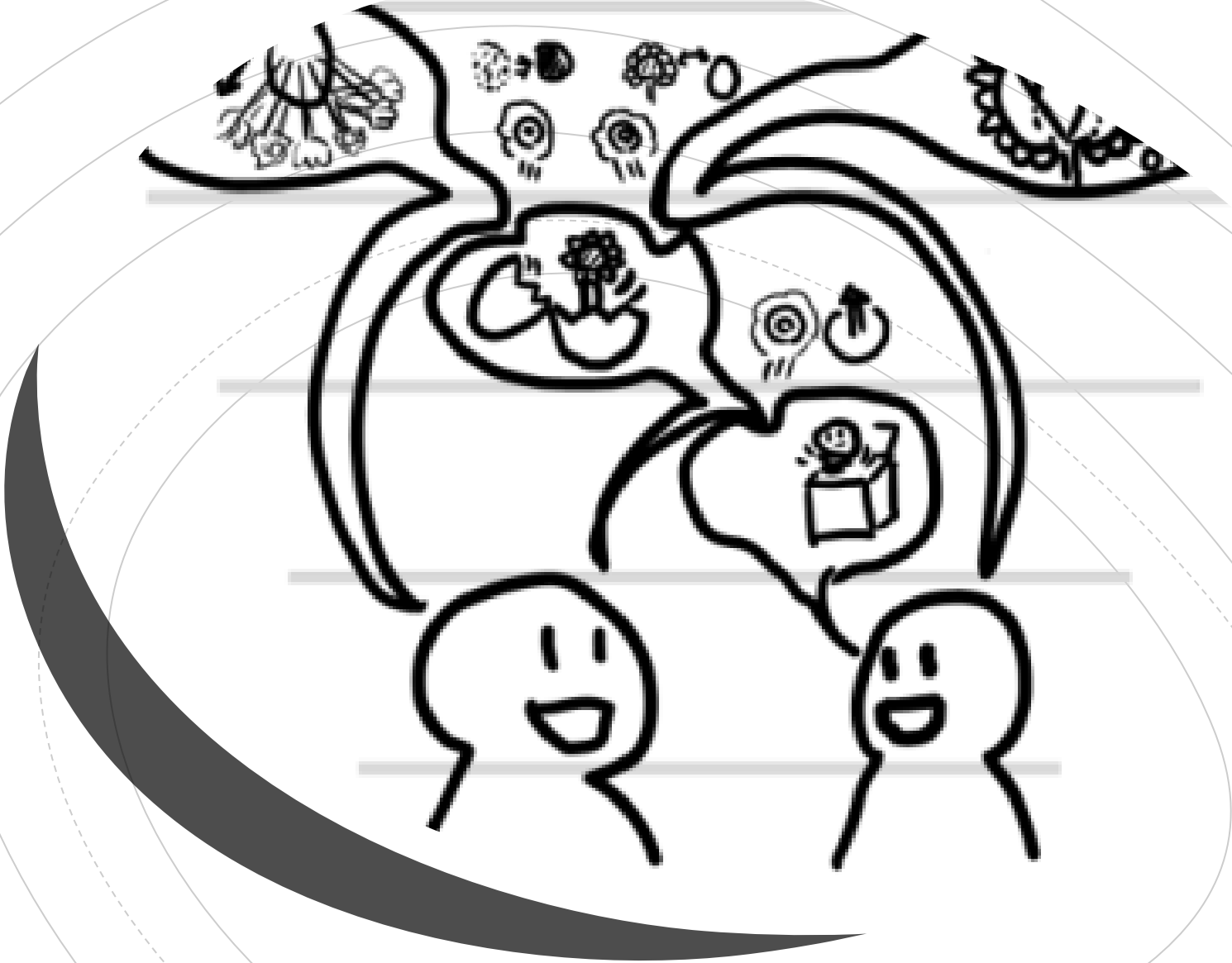
突飛さ歓迎

Encourage Wild Ideas

このルールの
根底にあるもの

できるかどう分からない
未成熟なものも、突飛なものも、出す。

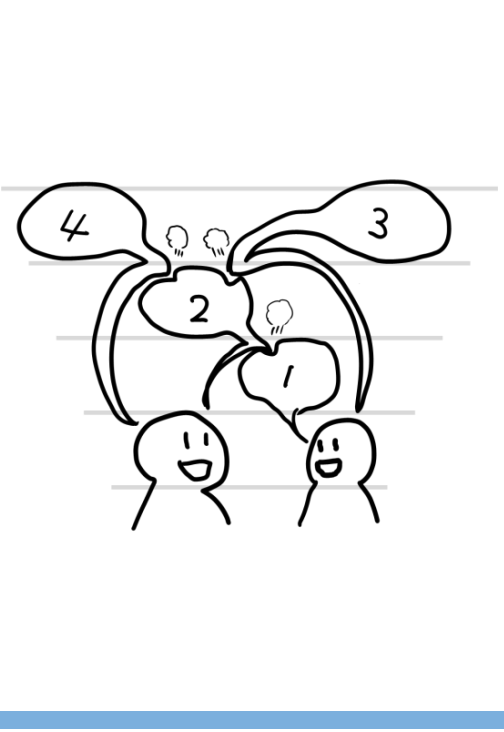
（そのままでは使えなくても、
新規性や多様性をもたらします）

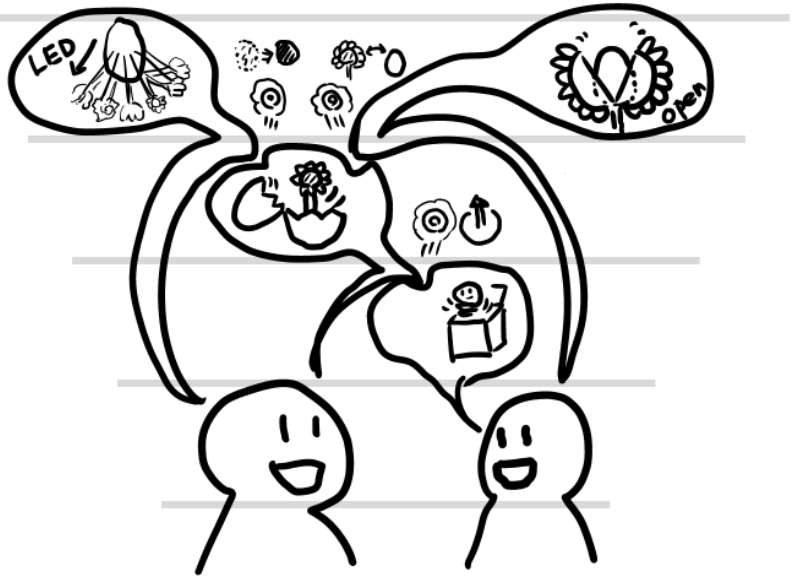


③

面白い所を使う

- アイデアの面白い所を見出す
- そこだけを切り出し、
  それをベースに
  新しいアイデアを出す
- 凡案からでも
  三歩で優秀案が出ることも





他の案に便乗

Build on the Ideas of Others

このルールの
根底にあるもの

アイデアを面白がる。
その面白い要素を基に更にアイデアを出す。

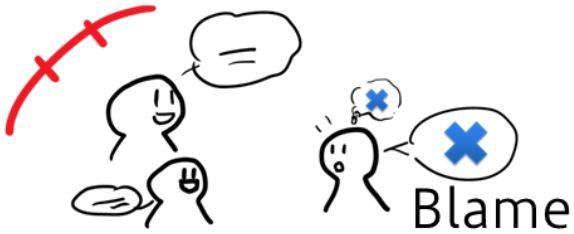
（1つの着想から、
いろんな可能性が 探索出来ます）

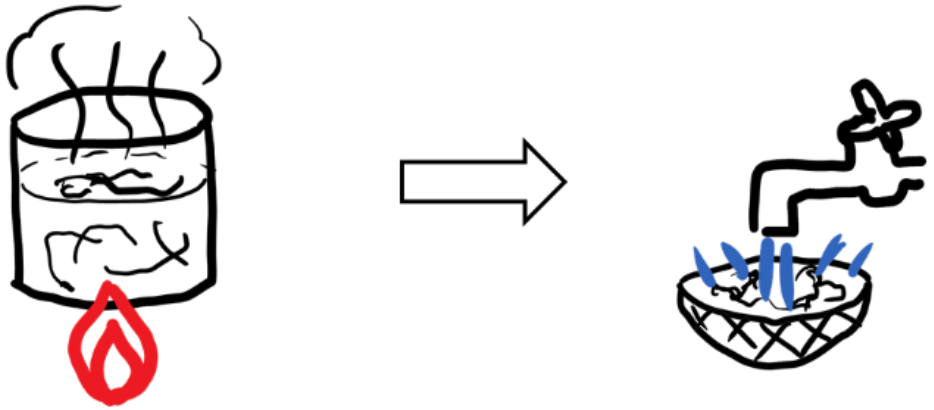
④
想像力を
萎えさせる
批判を排す

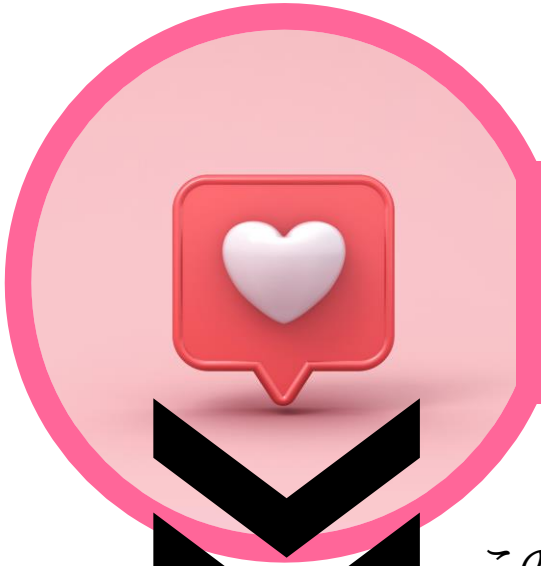
- 脳には、打ち消しあう2力「創造的精神」「批判的精神」がある（両方大事で、両方必要）

- 「発展への示唆」のつもりが、“非難された”と、くじかれ、創造の火が、鎮火・・・。

- 「創」と「批」の扱いのコツは、【蕎麦を茹でる】作業に似る
  ↓
- 「沸かし」、後に「水で締める」
  （つまり、同時に使わぬこと。
  同時に使うえば“ぬるい水”）







批判禁止

Defer Judgement

このルールの
根底にあるもの

欠けているところではなく、
アイデアの良い所を見出す。

（思い付きを言いやすい場になり、
また、創造性が促進されます）

ただし・・・

（将来、熟達した時のための余談）

熟達した職人は「閃き・批判の高速切替」をしている

意思の強い集団は、批判も揚力にしている

全体の話に、
戻ります

- 忙しい思考中に、
  複雑だと思い返しにくい。

→手短にまとめたい。

→「ブレストの4つのルール」に。

（一度、本質が分かれば、
次からは、創造的に思考しやすくなります）

創造的思考のガイド